

レンコン金物羽子板セット・II 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用 途

- 羽子板ボルトの代わりに横架材を引寄せます。

特 長

- ビス施工のためかざしのボルトが不要となり、プレカット加工の必要がありません。
- 既存の桁、胴差に直行する梁に羽子板ボルトを取付けると、外壁に穴を開けずに羽子板ボルトを取付けられます。

セット構成

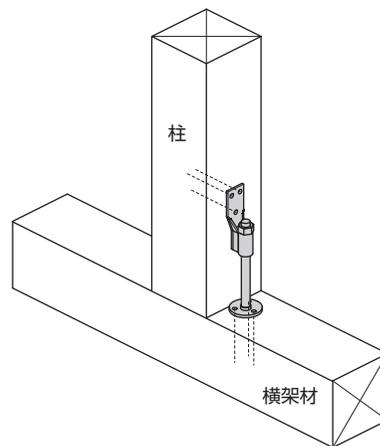
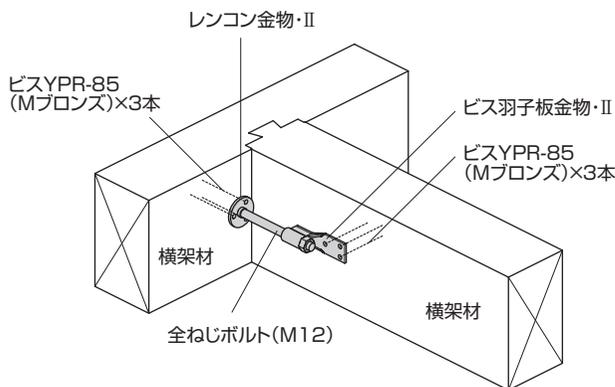
- レンコン金物・II×1個
- ビス羽子板金物・II×1個
- 専用ビス YPR-85(Mブロンズ)×6本
- 全ねじボルト(M12×140)×1本
- M12ナット×1個

施工方法

- ① ボルトを受ける位置を決めた後、レンコン金物・IIを付属のビスで接合します。
- ② 全ねじボルトをレンコン金物・IIに取付けます。
- ③ 全ねじボルトの長さに合わせてビス羽子板金物・IIを付属のビスで接合します。
※ナット締付時、ナットから3山程度ボルトが出るようご注意ください。
先にナットを取付けるとビス羽子板金物・IIの位置決めが容易です。
- ④ ナットでしっかりと固定し、引寄せます。

その他

レンコン金物・II、ビス羽子板金物・IIは各種単品の販売も行っています。



注意事項

- 全ねじボルトはレンコン金物・IIを取付けた柱・梁に当たるまでしっかりとねじ込んでください。
- ボルトの掛かりが足りないと所定の耐力を確保できません。
- セット品の全ねじボルト以外を使用する場合は、強度区分4.6以上のボルト(Zマーク六角ボルトなど)を使用してください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 全ねじボルト(M12×140)以外のボルトは別売です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の向きに取り付けてください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

建設省告示第1460号第2号
[へ]対応
ハウスプラス確認検査(株)性能試験

レンコン金物羽子板セット・II

短期基準接合引張耐力(Pot) : 12.1kN

BXカネシン株式会社

本 社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077

K20210209A